



『つむぎ子ども教室』・『つむぎ子ども教室Ⅱ』 ～児童発達支援～

新年 明けましておめでとうございます！

2026 年が始まります。今年は丙午（ひのえうま）60 年に一度巡る干支の一つです。火の性質を二重に持ち「太陽」や「真夏の炎」を象徴し情熱的でパワフルな意味を持つそうです。また午（うま）は前へ進む縁起物として親しまれているそうです。ところで私の故郷では初夏になると『チャグチャグ馬っこ』と言うお祭りが 있습니다。蒼前神社から街中まで 14 ㎞の道のりを、豪華な衣装と沢山の鈴をつけた馬が練り歩きます。感謝と無病息災を願うそうです。私自身も馬のように颯爽と走り抜けていく、そんな 1 年を願っています。（転ばないように…笑）どうか大切な子ども達と保護者の皆様、職員も含めて、ドキドキわくわくするような、笑いあふれる楽しい毎日を過ごせますようお祈り申し上げます。さて、皆様の目標は何でしょう。昨年はご協力頂きありがとうございました。本年もどうぞ宜しくお願い致します。（w）

2026 年 1 月	今月の目標：さまざまな伝承遊びを知ろう				
月	火	水	木	金	土
			1 日	2 日	3 日
			年末年始休み（～1/4 迄）		
5 日	6 日	7 日	8 日	9 日	10 日
伝承遊び週間					
12 日 成人の日	13 日 粘土遊び 音遊び	14 日 手先遊び タオル遊び	15 日 感触遊び 認識遊び	16 日 宝探し 色あそび	17 日
19 日 ゆさぶり遊び 楽器遊び	20 日 認識遊び 形遊び	21 日 ボール遊び スタンプ遊び	22 日 宝探し サーキット	23 日 ごっこ遊び 制作	24 日
26 日 感触遊び 色あそび	27 日 ごっこ遊び 縄遊び	28 日 紙遊び 手先遊び	29 日 認識遊び 音遊び	30 日 粘土遊び タオル遊び	31 日



～1 月・2 月の予定～

★1 月 22 日(木) 保護者学習会

「大人になっても楽しむために～子育て体験談より～」

講師）ひびき保育園元園長 遠藤明子先生

（現在 つむぎ虐待防止委員会/第三者委員会）

場所）なかまの杜 4 階放デイ 時間）9:15～10:30

* 資料等の準備がありますので、事前にお申込み下さい！

★2 月 1 7 日(火) 保護者交流会

「なんでもたくさん話しちゃおう会」

* 日頃の悩みや発達相談など、気軽に話しませんか？

場所）なかまの杜 4 階放デイ 時間）9:15～10:30

★2 月 1 4 日(土) 親子イベント

詳細は後日お知らせします



～七草粥を食べよう～



七草粥は、一月七日「人日（じんじつ）の節句」の朝に食べられるおかゆで、「これからはじまる一年間を健やかに暮せるように」と願いが込められた日本の伝統食です。七草粥には【せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ】からなる、春の七草を入れます。お正月のごちそうで疲れた胃腸を休めて身体を整える意味があり、七草にはビタミンやミネラルが豊富で、栄養面でも優れています。塩分を控えめにして味を薄くすることで、小さいお子さんも安心して食べることができますので、ぜひ、ご家族で七草粥を食べてみてくださいね。

手の働きを育てよう

運動発達と同じく、手の発達にもみちすじがあります。肩→上腕→前腕→手首→手指へ、手指は小指側から親指へと発達していきます。療育の中では、つむぎ体操、マッサージ、揺さぶり遊びなどで背中や肩の力を抜き、腕立て姿勢保持、手押し車、這う運動を通して肩や腕で身体を支える力や手首の安定を育てていきます。木棒を使った床の上すべり（大蛇）や引き起こし（魚釣り）では、親指とその他 4 本の指を向かい合わせて握り込む力が育ち、制作や感触遊びでは、手指の微細な運動や手で触れて知る働きが育ちます。

上手にハサミを使えるようになった A ちゃん

つむぎに通っている現在 6 歳の A ちゃんは制作が大好きで「今日は何を作るの?」といつも楽しみにしています。運動発達の遅れ、筋力の弱さ、低緊張がありますが、この運動や壁逆立ちなど楽しみながら毎回少しずつ取り組み続けていました。

ある日、腕立て姿勢保持を終えてみんなが水分補給をしていると、「先生見てー!」と声が聞こえてきました。声のする方を見ると…A ちゃんが壁逆立ちをずっと続けています! 以前は 30 秒続けることも大変でしたが、手首や肩を安定させて長い時間保持できるようになっていました。またある日、綱引きをした時のことです。両手で綱をギュッと握り腰を入れて引っ張ります。決着がつくまで長い戦いでしたが、一度も手を離すことなく握って引っ張り続けて「手が赤くなったよ」と誇らしげな A ちゃんです。

手腕で身体を支えたり、手指に力を入れて握ったりする運動遊びを通して手の働きがだんだん育っていきました。制作でも道具を使う経験を積み重ねていきました。

1 年前、ハサミで直線を切ることはできましたが、左手は持つ位置を変えるように大人が促し、一度閉じたハサミが片手では開けず両手の力が必要でした。しかし今では、手首を安定させてハサミを握り続け、反対の手で台紙を動かしながら、丸い形を一人で切ることができるようになりました。ペンやテープ、スティックのり等、ひとりで使える道具が増え、色々な形を作ることがよりいっそう楽しくなり、丁寧に自分の手で物を作り上げることができるようになってきています。

やってみよう! 家事のお手伝い

「手伝い」という言葉には「手」が入っているように、ご家庭でできるお手伝いは食器洗い・テーブル拭き・買い物の荷物を持つなど、手を使う物ばかりですね! ぜひ大人の真似をしながら楽しく取り組んでみてください。(職員 M・K)

参考文献～相馬範子「障がい児の保育と発達と原則」(東洋書店・2012 年)



みんなでゲームに挑戦して楽しみました!

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました!